

《 今日の主なニュース 》

～ 日経ニュースなどを中心に抜粋 ～

◆3月の街角景気、3カ月連続低下 内閣府

・内閣府が発表した3月の景気ウオッチャー調査(街角景気)によると、現状判断指数(DI、季節調整値)は前月比0.5ポイント低下して45.1となった。物価高騰などの影響で家計、企業ともに指数が下がり、全体では3カ月連続で悪化。基調判断は「緩やかな回復基調が続いているものの、このところ弱さがみられる」で据え置いた。

◆倒産11年ぶり1万件、「人手不足」理由過去最多 24年度

・2024年度の全国の企業倒産件数が11年ぶりに1万件を超えた。求人難や人件費高騰による人手不足倒産は前年度比で6割増え、過去最多。物価高による仕入れ価格上昇も中小経営を圧迫。東京商工リサーチは24年度の全国企業倒産(負債額1000万円以上)が前年度比12%増の1万144件だったと発表。13年度以来の1万件台。

◆2月経常黒字、過去最高の4兆607億円 前年比48%増

・財務省が発表した2月の国際収支統計(速報)によると、海外とのモノやサービスなどの取引状況を示す経常収支は4兆607億円の黒字となった。黒字幅は前年同月から48.4%拡大し、単月としては過去最高となった。前年に比べ輸出額が増えた。貿易収支は7129億円の黒字(前年同月は2983億円の赤字)。輸入額は1.9%減の8兆2926億円だった。

《 業界ニュース 》

～ 日経ニュース・日刊工業新聞・新建ハウジングなどを中心に抜粋 ～

◆建設事業者数、23年度は3.8%増 完工高も増加—施工統計調査

・国土交通省が公表した2023年度の「建設工事施工統計調査」結果によると、23年度に建設工事の実績があった業者数は39万1259業者で、前年度比で3.8%の増加。このうち建設業専門の業者数は31万6558者で同3.5%の増加。内訳は、「個人」が5万3803者(同10.0%増)、「法人」が26万2755者(同2.3%増)。

◆タカラスタンダード、開発拠点新設 35億円投じ集約

・キッチン国内最大手のタカラスタンダードは、研究開発拠点を新設。投資額は約35億円。素材開発の試験設備は従来の3倍になるほか、製品を消費者が体験・フィードバックする施設も床面積を従来の10倍ほどに広げる。分散していた研究開発の機能を本社近くに集約し迅速な商品開発につなげる。

◆「屋根壊れてますよ」増える点検商法 トクリュウ群がる

・SNSを通じて離合集散する「匿名・流動型犯罪グループ(トクリュウ)」が絡む悪質リフォーム事件が頻発している。「屋根が壊れている」などと突如来訪する「点検商法」の摘発は2024年に過去最多の66件あり、トクリュウが絡む事例が目立った。被害を防ぐには自宅に入れさせず、警察に相談する対処法が重要になる。

《 注目商品 》

■リンナイ、「GRILLER(グリレ)」10年ぶりにモデルチェンジ

・重厚感のある鋳物五徳とガスならではの強火力が特長のビルトインガスコンロを10年ぶりにモデルチェンジ。鋳物五徳は直線的で堅牢なデザインに刷新し、3つの五徳が1つの大きな面となるように構成。点火つまみを従来品より6mm大きくし、操作性に配慮。



■立川ブラインド、ロールスクリーン・タテ型ブラインドを刷新

・ロールスクリーン「ラルクシールド」をリニューアルして発売。ロールスクリーン「ラルクシールド」は、「ウェルビーイング」をテーマに心の整え方や自分らしい暮らし方を表現した「PHYTO(フィット)」「CALM(カーム)」「FUN(ファン)」「SLOW(スロウ)」の4つのカテゴリーに刷新。



■パナソニック、工期を半減させる床材のプレカットオーダー

・住宅会社向けに床材の割付・施工に関する熟練技術を不要にする「床材 プレカットオーダー」を開始。基本的な住宅構造や床材施工時のクリアランス、取り合いといった事前条件を取り決めたうえで、物件のCADデータに合わせて割付図を作成。

